

こうして、順番に窯のカードをめくり、すべてのカードがめくられて、窯に入っているレシピカードの処理がすべて終わったら、第2フェイズ終了となります。

【注意】 この時点で、まだ表向きになって置かれている、使用されなかったトッピングカードは、捨て札の山とは混ぜずに、ひとつにまとめて、次のラウンドのはじめからある窯の山のカードになります。

次のラウンド

- 捨て札の山のカードとマンマミーアカードと一緒によく混ぜ、新たなトッピングカードの山札を作ります。
- 前のラウンドと同様に、第1フェイズから次のラウンドを開始します。
- マンマミーアカードを前に置いていたプレイヤーから、次のラウンドを始めます。
- 前のラウンドで残ったトッピングカードが、新しい窯の山となりますので、このあと、手札から出すトッピングカードおよびレシピカードは、それに重ねて置いていきます。
- 新しいラウンドの開始時に、プレイヤーの手札の枚数が異なることがあります。その場合は、次の自分の手番の終わりになってはじめて、7枚になるように補充することができます。

ゲームの終了と勝者

3ラウンド終了したら、ゲーム終了です。
最もたくさんのレシピを完成させたプレイヤーの勝利です。つまり、手札および自分のレシピカードの山に残った、レシピカードが少ないプレイヤーが勝ちです。同点の場合は、最後に手札に残ったトッピングカードの枚数の多い方の勝ちとなります。

特殊なレシピカード

8枚あるレシピカードのうち、5枚は特定のトッピングが描かれていますが、その他に、下の3種類の特殊なレシピがあります。これらのレシピカードも、ピザを完成させるために、不足しているトッピングを手札から出すことができます。



「15+」 (Pizza Bomnastica)
このカードがめくられたとき、すでにめくられたトッピングカードが**15枚以上**あれば、ピザが完成します。**種類は問いません**。それまでにめくられていた**全てのトッピングカードが使用され、全て捨て札となります**。



「J」 (Pizza Monotoni)
カードに描かれているトッピングに加え、**いずれか1種類のトッピングが6枚必要です**。「J」はジョーカーの意味で、カードがめくられた時点で、**プレイヤーはどのトッピングにするか決めることができます**。ただし、すでにカードに描かれている種類のトッピングと同じもの(この場合はマッシュルーム)は**選択できません**。



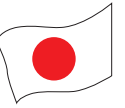
「？」 (Pizza Minimale)
カードに描かれているトッピングに加え、さらに3枚のトッピングが必要です。追加するトッピングは、**表向きになっているカードのうち、最も枚数の少ない種類のトッピングでなければなりません**。ただし、すでにカードに描かれているトッピングは**使用できません**。「最も少ない」トッピングが複数ある場合には、プレイヤーがその中から選ぶことができます。

【例】 めくられているトッピングが、オリーブ×2、サラミ×2、マッシュルーム×2、パイナップル×3です。このとき「？」がめくられました。「最も少ない」トッピングは3種類あります。(パイナップルは1枚もめくられていないので、対象外です。) オリーブはすでに描かれているトッピングなので、対象から外れるため、プレイヤーはサラミかマッシュルームのいずれかを選択できます。そして、不足分の1枚を手札から出す事ができれば、このレシピは完成します。

■ ルール問い合わせ先



メビウス ゲームズ
東京都文京区後楽1-1-15 梅澤ビル5階
Tel. 03-3815-5956 Fax. 03-3815-7956
<http://www.mobius-games.co.jp/>
shop@mobius-games.co.jp



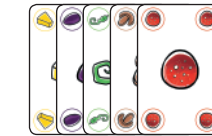
プレイヤーはピザ職人となって8種類のピザを完成させます。
3ラウンド行ったあとで、一番多くのピザを完成させたプレイヤーの勝利となります。
ピザを完成させるためには、ちょっとした記憶力と勘と決断力が必要です。

用具

・レシピカード: 40枚 (8枚×5色) ・トッピングカード: 65枚 ・マンマミーアカード: 1枚



ピザの完成に必要なトッピングが描かれています。裏が同色のもの8枚組が5色



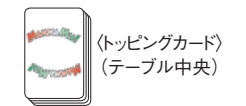
パイナップル、オリーブ、ペパロニ、マッシュルーム、サラミ 各13枚



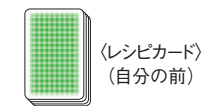
“ザ・職人”のカード

ゲームの準備

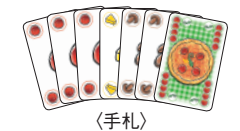
- 各プレイヤーは、裏が同色の**レシピカード8枚**を持ち、よく混ぜて自分の前に裏向きにして山にして置いておきます。
- 5人未満でプレイする場合には、次のように**トッピングカードの枚数を減らしてプレイします**。
・4人プレイの時：各**種類1枚**ずつ抜きます。
・3人プレイの時：各**種類3枚**ずつ抜きます。
・2人プレイの時：各**種類5枚**ずつ抜きます。
抜いたカードは箱の中に戻しておきます。
- 使用するトッピングカードを一緒によく混ぜ、**各プレイヤーに6枚ずつ配ります**。
残りのカードにマンマミーアカードを加えてさらに混ぜ、裏向きのまま山にして、テーブル中央に置いておきます。これをトッピングカードの山と呼ぶことにします。
- さらに各プレイヤーは自分の前にあるレシピカードの山の一番上のカード1枚を取り、手札に加えます。つまり**各プレイヤーは手札として合計7枚ずつを、ゲーム開始時に持っています**。(右図参照)
- 最もお腹がすいているプレイヤーから始めます。以降は時計回りの順番で進行します。



〈トッピングカード〉
(テーブル中央)



〈レシピカード〉
(自分の前)



〈手札〉

【ヒント】 マンマミーア!は簡単なゲームですが、ユニークなゲームです。慣れていないプレイヤーとゲームするときには、まず1ラウンドやってみて、それから新たにゲームを始め直すといいでしょう。そうすることでルールに関する問題はクリアできるでしょう。

🎮 ゲームの進行

ゲームは3ラウンド行います。各ラウンドは前後半の2つのフェイズからなります。

1. トッピングおよびレシピカードを手札から出して、窯に入れる。
2. ピザが完成しているかどうかチェックする。

★第1フェイズ:ピザを窯に入れる

手番(自分の番)が来たら、以下の順番で3つのアクションを行います。

a) 自分手札から、どれか1種類のトッピングカードを好きな枚数(最低でも1枚)、テーブル中央の窯の山(*)に、表向きにして置きます。このとき出したトッピングの種類と枚数は、他のプレイヤーにもはっきり分かるように宣言します。一度の手番で2種類以上のトッピングカードを出すことはできません。

* 窯の山は、ゲーム開始時には何もありません。トッピングカードの山の近くに適当に置いてください。それ以降は、すべてのプレイヤーはここに積み重ねるようにカードを出していきます。

b) トッピングカードに続けて、自分手札からレシピカードを1枚、窯の山に表向きにして出すことができます。(出さなくてもかまいません)

c) 手番の最後に、手札が再び7枚になるように補充します。補充するカードは、トッピングカードの山か、自分のレシピカードの山のいずれか一方から補充します。両方の山からカードを引くことはできません。もし山札に十分な枚数のカードがない場合には、残っているカードを全て引くだけになります。この場合は、そのプレイヤーの手札は一時的に7枚より少なくなります。そして、左隣のプレイヤーの手番となります。

【補足】 特殊なケースとして手札にトッピングカードが1枚もないことがあります。その場合は手番がパスになります。レシピカードも出すことができません。ただし、手札の補充は通常通りできます。

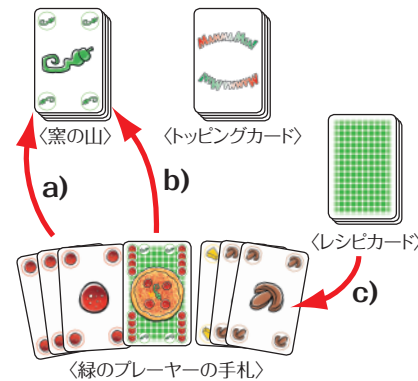
第1フェイズは、トッピングカードの山の最後の一枚が引かれた時点で終了します。

【緑のプレイヤーの手番の例】(右図参照)

a) 手札からサラミを3枚出して窯の山に置き、「サラミ3枚」と宣言しました。

b) そして手札からレシピカード(サラミ4枚とペパロニ)のカードを出し、ピザカードの山に置きます。

c) 彼はレシピカードを補充することにしましたが、彼のレシピカードの山は3枚しかカードがなかったため、その3枚を全て引いて、一時的に6枚の手札で手番を終えることになります。



●マンマミーアカードを引いたとき:

手札の補充の時にトッピングカードの山から、マンマミーアカードを引いた場合、直ちにそれを自分の前に表向きにして置き、代わりにカードを1枚引きます。

★第2フェイズ:ピザができているか調べる

このフェイズでは、第1フェイズでマンマミーアカードを引いたプレイヤーが主に働きます。その他のプレイヤーは必要に応じて、手札を出すことができます。

- マンマミーアカードを前に置いているプレイヤーが、第1フェイズで作られたピザを焼く窯の山のカードを全て取り、裏返して底が上に来るようにして持ちます。この時、カードの順番は決して変えてはいけません。そして上から順にカードをめくっていきます。つまり、ゲーム開始時に最初に出されたカードが、一番最初にめくられることになります。

- 窯の山のカードは、第一フェイズでプレイされた順番にめくられていきます。トッピングカードは種類毎に、その枚数がわかるようにテーブルに並べていきます。(次ページの図を参照してください)

- レシピカードがめくられたら、カードに描かれているトッピングの種類と枚数が、すでにめくられてテーブルに置かれているかどうかを確認します。



【例】 左のレシピを完成させるには、ペパロニ1枚と、サラミ4枚のトッピングカードが必要です。

- すでにそのピザを作るために必要な種類と数のトッピングカードが並べられていたら、そのピザは完成です。

- 完成したレシピカードはゲームから取り除かれ、そのピザを作るために使われたトッピングカードは、別にして捨て札の山として重ねて置きます。

- ピザを完成させるために必要なトッピングカードが不足している場合は、そのレシピカードを出したプレイヤー(カードの裏の色で分かります)が、ピザを完成させるために、手札から不足分のトッピングを追加して出すこともできます。この場合も、完成させることができたなら、そのレシピカードはゲームから取り除かれ、使われたトッピングカードは別にして捨て札の山に置きます。

【補足】 ピザを完成させるために手札からカードを出した場合、その分のカードをすぐに補充することはできません。

- めくられたレシピカードのピザを完成させることができなかった場合には、そのレシピカードを持ち主に戻して(カードの色で誰の物か分かります)、そのプレイヤーのレシピカードの山の一番下入れます。この山札は、切りなおしはしません。

【レシピを完成させる例】(下図参照)

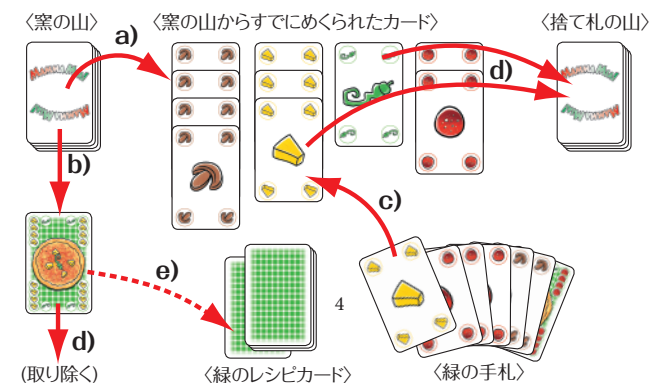
a) マッシュルーム×4枚、パイナップル×3枚、ペパロニ×1枚、サラミ×2枚のトッピングカードがすでにめくられ、テーブルの上に置かれています。

b) ここで、緑のペパロニ×1枚、パイナップル×4枚が必要なレシピカードがめくられました。ペパロニは足りていますが、パイナップルが1枚不足しています。

c) そこで緑のプレイヤーは手札からパイナップルを1枚出してピザを完成させました。

d) 完成したレシピカードはゲームから取り除き、使用したペパロニ1枚とパイナップル4枚は、まとめて捨て札の山に置きます。

e) もし緑のプレイヤーがパイナップルのカードを出せない(出したくない)場合には、このレシピカードを緑のプレイヤーのレシピカードの山の一番下に入れます。



(取り除く) <緑のレシピカード> 4 <緑の手札>